

ロンドン、2018年1月23日

中国の山東鋼鉄日照向け焼鈍シミュレーター「マルチパス」を受注

- 焼鈍シミュレーター「マルチパス」は熱処理プラントでの製品開発およびプロセス最適化に使用
- 熱処理プラントの立ち上げ期間を短縮
- 本システムは、新設製鉄所のリサーチセンターに設置
- 今回で10基目の受注

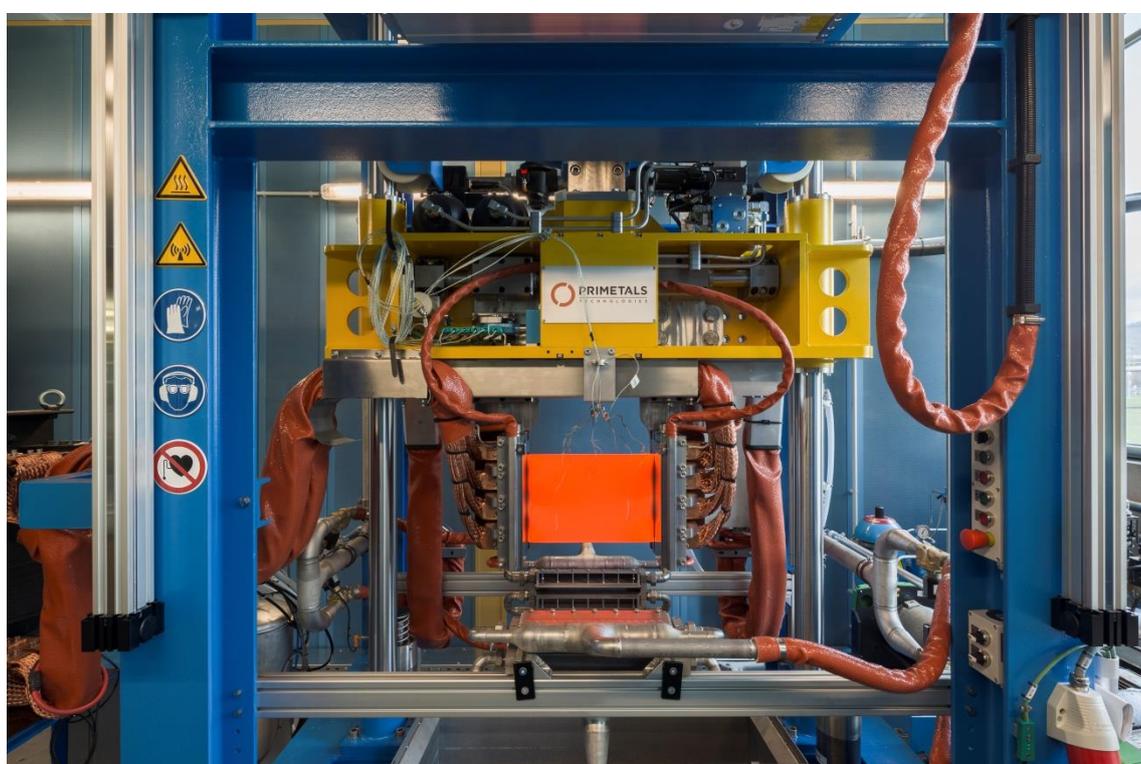
プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、中国の山東鋼鉄集団日照有限公司（Shandong Iron&Steel Group Rizhao Co.Ltd., : 山東鋼鉄日照）より、焼鈍シミュレーター「マルチパス（Multipas）」を受注しました。このシステムは、日照市南部に建設中の新設製鉄所のリサーチセンターに設置される予定で、熱処理設備における製品開発およびプロセス最適化に使用されます。この焼鈍シミュレーターの多方面にわたる使いやすさが当社に発注された主な理由の一つで、本システムの使用によって、熱処理設備の立ち上げ期間が短縮され、最適化が容易になります。このシステムは今回で10基目の受注で、運転開始は2018年9月の予定です。

山鋼日照は山東鋼鉄集団の子会社で、日照市南部の黄海沿岸部に建設中の一貫製鉄所である山鋼日照高級製品拠点の中核として2009年に設立され、素材の最終加工を担います。この敷地内には製品開発およびプロセス最適化を目的とするリサーチセンターが建設中であり、圧延シミュレーターおよび本焼鈍シミュレーターも同リサーチセンター内に設置される予定です。

「マルチパス」では、最大500ミリ×300ミリ、板厚3ミリまでの冷延鋼板の試験材を、誘導加熱（最大電流8,000アンペア）により1,200℃まで加熱でき、試験材のサイズに応じて加熱速度毎秒最大100℃まで可能です。その後、試験材は全く異なるさまざまな方法で冷却することが可能です。主な冷却方法として、ガス噴射冷却と水焼入れの2つの方式があり、ガス噴射方式では冷却速度毎秒最大100℃、水焼入れ方式では冷却速度毎秒最大1,000℃で試験材を水冷することにより微細構造を「凍結」

させることができ、試験材はその後試験室で検査されます。このマルチパスは、水スプレーノズル、ミストジェットノズル、ファン冷却設備も装備し、幅広い加熱速度と冷却速度を実現することにより、大規模なプラントでの熱処理や将来の熱処理に関するすべてのシミュレーションを、小型試験で再現可能にしています。

この焼鈍シミュレーター「マルチパス」は、オーストリアのリンツにある当社のメカトロニクス研究所で組み立てられ、お客様の立ち合いのもと、すべての機能試験および事前検収試験も行われます。出荷予定は2018年6月末で、当社がシミュレーターの据付けおよび試運転を担当します。同システムは今回が10基目の受注となり、これまでにオーストリア、ドイツ、韓国、中国のお客様に納入されています。



プライメタルズテクノロジーズの焼鈍シミュレーター「マルチパス」。中国・日照市にある山東鋼鉄日照の新設製鉄所のリサーチセンターに設置される予定。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室

広報担当（山下）

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内

電話：082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリングやプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com